

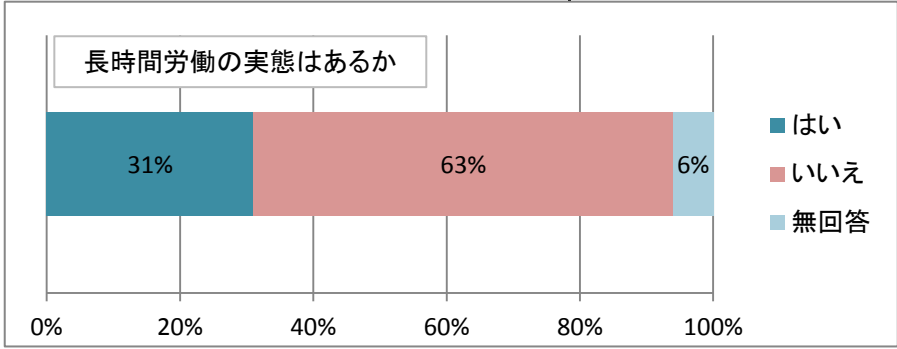
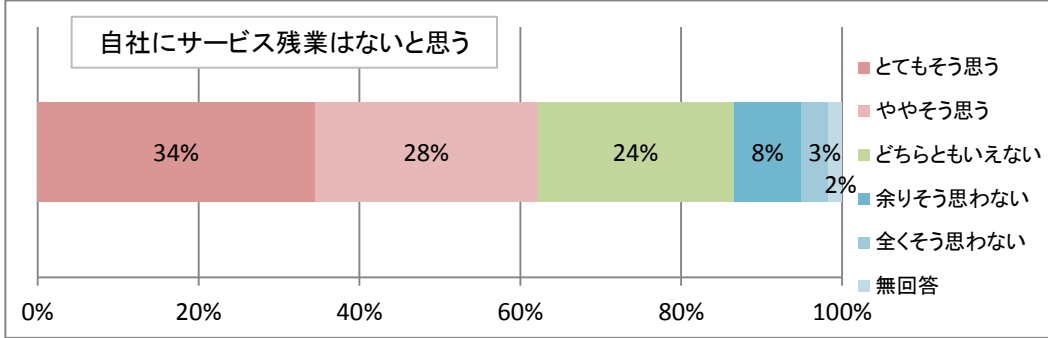
兵庫県立大学経営学部・ひょうご仕事と生活センター共同研究
ひょうご仕事と生活の調和推進宣言企業調査 結果概要（抜粋版）

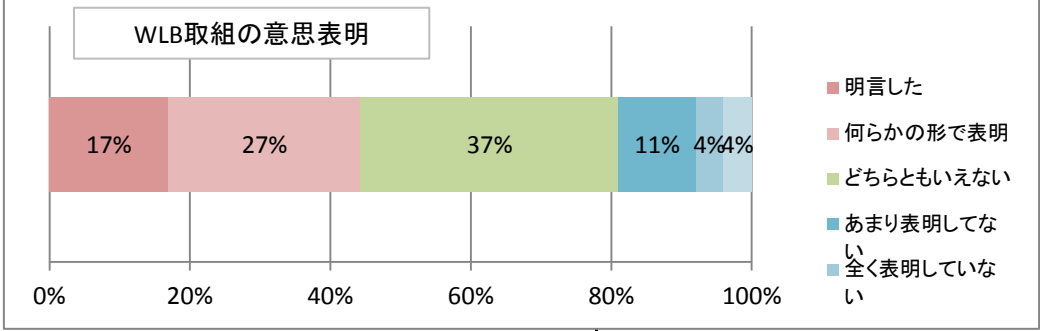
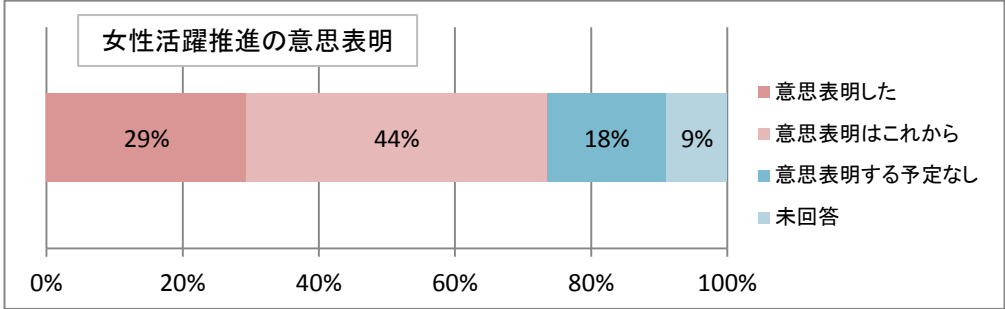
1 調査概要

- (1) 調査テーマ「企業における女性活躍推進及びワーク・ライフ・バランスに関する実態調査」
- (2) 調査対象者：ひょうご仕事と生活の推進企業宣言企業1,258社
（回答者は、企業の経営層・人事労務責任者）
- (3) 調査期間：平成28年10月15日～31日
- (4) 調査方法：調査票郵送、着払封筒にて返送
- (5) 回答件数：415社（回収率33%）
- (6) 上記調査をH29年度に分析

2 調査結果概観

項目	調査結果	考察																								
回答企業の業種	<table border="1"> <thead> <tr> <th>業種</th> <th>回答数</th> <th>%</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>製造業</td> <td>124</td> <td>29.9%</td> </tr> <tr> <td>医療福祉</td> <td>63</td> <td>15.2%</td> </tr> <tr> <td>卸売業・小売業</td> <td>52</td> <td>12.5%</td> </tr> <tr> <td>サービス業</td> <td>50</td> <td>12.0%</td> </tr> <tr> <td>建設業</td> <td>49</td> <td>11.8%</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>77</td> <td>18.6%</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>415</td> <td>100%</td> </tr> </tbody> </table> 	業種	回答数	%	製造業	124	29.9%	医療福祉	63	15.2%	卸売業・小売業	52	12.5%	サービス業	50	12.0%	建設業	49	11.8%	その他	77	18.6%	計	415	100%	<p>製造業が全体の約3割を占める。医療・福祉(病院・歯科医院・介護施設・保育所含む)、卸売業・小売業の上位3業種で約6割を占める。</p>
業種	回答数	%																								
製造業	124	29.9%																								
医療福祉	63	15.2%																								
卸売業・小売業	52	12.5%																								
サービス業	50	12.0%																								
建設業	49	11.8%																								
その他	77	18.6%																								
計	415	100%																								
過去3年間で業績が伸びているか	<table border="1"> <thead> <tr> <th>回答</th> <th>回答数</th> <th>%</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>大幅に上昇</td> <td>16</td> <td>4%</td> </tr> <tr> <td>やや上昇</td> <td>137</td> <td>33%</td> </tr> <tr> <td>変わらない</td> <td>153</td> <td>37%</td> </tr> <tr> <td>やや下降</td> <td>63</td> <td>15%</td> </tr> <tr> <td>大幅に下降</td> <td>9</td> <td>2%</td> </tr> <tr> <td>無回答</td> <td>37</td> <td>9%</td> </tr> <tr> <td></td> <td>415</td> <td>100%</td> </tr> </tbody> </table> 	回答	回答数	%	大幅に上昇	16	4%	やや上昇	137	33%	変わらない	153	37%	やや下降	63	15%	大幅に下降	9	2%	無回答	37	9%		415	100%	<p>2016年を基準にして、過去3年間の傾向をきいた。「変わらない」という回答が最も多く、37%だった。「(大幅に・やや)上昇している」という回答が合わせて37%、「下降している」という回答が17%であった</p>
回答	回答数	%																								
大幅に上昇	16	4%																								
やや上昇	137	33%																								
変わらない	153	37%																								
やや下降	63	15%																								
大幅に下降	9	2%																								
無回答	37	9%																								
	415	100%																								

<p>離職率の変化 2011年度基準 (男性)</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>回答</th> <th>回答数</th> <th>%</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>大幅に増加</td> <td>4</td> <td>1%</td> </tr> <tr> <td>やや増加</td> <td>46</td> <td>11%</td> </tr> <tr> <td>変わらない</td> <td>298</td> <td>72%</td> </tr> <tr> <td>やや減少</td> <td>32</td> <td>8%</td> </tr> <tr> <td>大幅に減少</td> <td>10</td> <td>2%</td> </tr> <tr> <td>無回答</td> <td>25</td> <td>6%</td> </tr> <tr> <td></td> <td>415</td> <td>100%</td> </tr> </tbody> </table>	回答	回答数	%	大幅に増加	4	1%	やや増加	46	11%	変わらない	298	72%	やや減少	32	8%	大幅に減少	10	2%	無回答	25	6%		415	100%	<p>調査時点から5年前（2011年度）を基準にした離職率の変化をきいた。男女とも「変わらない」という回答が7割を超えて最大であった。</p>
回答	回答数	%																								
大幅に増加	4	1%																								
やや増加	46	11%																								
変わらない	298	72%																								
やや減少	32	8%																								
大幅に減少	10	2%																								
無回答	25	6%																								
	415	100%																								
<p>離職率の変化 2011年度基準 (女性)</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>回答</th> <th>回答数</th> <th>%</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>大幅に増加</td> <td>1</td> <td>0.2%</td> </tr> <tr> <td>やや増加</td> <td>35</td> <td>8%</td> </tr> <tr> <td>変わらない</td> <td>314</td> <td>76%</td> </tr> <tr> <td>やや減少</td> <td>43</td> <td>10%</td> </tr> <tr> <td>大幅に減少</td> <td>8</td> <td>2%</td> </tr> <tr> <td>無回答</td> <td>14</td> <td>3%</td> </tr> <tr> <td></td> <td>415</td> <td>100%</td> </tr> </tbody> </table>	回答	回答数	%	大幅に増加	1	0.2%	やや増加	35	8%	変わらない	314	76%	やや減少	43	10%	大幅に減少	8	2%	無回答	14	3%		415	100%	
回答	回答数	%																								
大幅に増加	1	0.2%																								
やや増加	35	8%																								
変わらない	314	76%																								
やや減少	43	10%																								
大幅に減少	8	2%																								
無回答	14	3%																								
	415	100%																								
<p>長時間労働の実態はあるか</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>回答</th> <th>回答数</th> <th>%</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>はい</td> <td>129</td> <td>31%</td> </tr> <tr> <td>いいえ</td> <td>261</td> <td>63%</td> </tr> <tr> <td>無回答</td> <td>25</td> <td>6%</td> </tr> <tr> <td></td> <td>415</td> <td>100%</td> </tr> </tbody> </table> 	回答	回答数	%	はい	129	31%	いいえ	261	63%	無回答	25	6%		415	100%	<p>従業員が長時間労働をしている実態があるか否かをきいた。約3割の会社で長時間労働の実態があるとの回答だった。</p>									
回答	回答数	%																								
はい	129	31%																								
いいえ	261	63%																								
無回答	25	6%																								
	415	100%																								
<p>サービス残業はないと（経営層が）思っているか</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>回答</th> <th>回答数</th> <th>%</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>とてもそう思う</td> <td>143</td> <td>34%</td> </tr> <tr> <td>ややそう思う</td> <td>115</td> <td>28%</td> </tr> <tr> <td>どちらともいえない</td> <td>101</td> <td>24%</td> </tr> <tr> <td>余りそう思わない</td> <td>35</td> <td>8%</td> </tr> <tr> <td>全くそう思わない</td> <td>14</td> <td>3%</td> </tr> <tr> <td>無回答</td> <td>7</td> <td>2%</td> </tr> <tr> <td></td> <td>415</td> <td>100%</td> </tr> </tbody> </table> 	回答	回答数	%	とてもそう思う	143	34%	ややそう思う	115	28%	どちらともいえない	101	24%	余りそう思わない	35	8%	全くそう思わない	14	3%	無回答	7	2%		415	100%	<p>経営層の主観として、自社に当てはまるかをきいた。「サービス残業はない」という回答が62%である。</p>
回答	回答数	%																								
とてもそう思う	143	34%																								
ややそう思う	115	28%																								
どちらともいえない	101	24%																								
余りそう思わない	35	8%																								
全くそう思わない	14	3%																								
無回答	7	2%																								
	415	100%																								

<p>WLBに積極的に取り組むと経営トップが意思表示したか</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>回答</th> <th>回答数</th> <th>%</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>明言した</td> <td>70</td> <td>17%</td> </tr> <tr> <td>何らかの形で表明</td> <td>114</td> <td>27%</td> </tr> <tr> <td>どちらともいえない</td> <td>152</td> <td>37%</td> </tr> <tr> <td>あまり表明してない</td> <td>46</td> <td>11%</td> </tr> <tr> <td>全く表明していない</td> <td>16</td> <td>4%</td> </tr> <tr> <td>無回答</td> <td>17</td> <td>4%</td> </tr> <tr> <td></td> <td>415</td> <td>100%</td> </tr> </tbody> </table> <p>経営層がWLBに取り組むという意思表示をしたかをきいた。意思表示があったのは全体の44%であり、「どちらともいえない」を消極的回答に含めると、52%が意思表示をしていないと考えられる</p> 	回答	回答数	%	明言した	70	17%	何らかの形で表明	114	27%	どちらともいえない	152	37%	あまり表明してない	46	11%	全く表明していない	16	4%	無回答	17	4%		415	100%	
回答	回答数	%																								
明言した	70	17%																								
何らかの形で表明	114	27%																								
どちらともいえない	152	37%																								
あまり表明してない	46	11%																								
全く表明していない	16	4%																								
無回答	17	4%																								
	415	100%																								
<p>WLBの考え方は社内に浸透していると経営層が思うか</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>回答</th> <th>回答数</th> <th>%</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>とてもそう思う</td> <td>36</td> <td>9%</td> </tr> <tr> <td>ややそう思う</td> <td>113</td> <td>27%</td> </tr> <tr> <td>どちらともいえない</td> <td>152</td> <td>37%</td> </tr> <tr> <td>余りそう思わない</td> <td>88</td> <td>21%</td> </tr> <tr> <td>全くそう思わない</td> <td>14</td> <td>3%</td> </tr> <tr> <td>無回答</td> <td>12</td> <td>3%</td> </tr> <tr> <td></td> <td>415</td> <td>100%</td> </tr> </tbody> </table> <p>経営層がWLBは社内に浸透していると考えているか、という主観をきいた。浸透しているという回答は36%であり、宣言企業であってもあまり高いとは言えない。余りそう思わない、全くそう思わないを合わせると24%であった。</p>	回答	回答数	%	とてもそう思う	36	9%	ややそう思う	113	27%	どちらともいえない	152	37%	余りそう思わない	88	21%	全くそう思わない	14	3%	無回答	12	3%		415	100%	
回答	回答数	%																								
とてもそう思う	36	9%																								
ややそう思う	113	27%																								
どちらともいえない	152	37%																								
余りそう思わない	88	21%																								
全くそう思わない	14	3%																								
無回答	12	3%																								
	415	100%																								
<p>女性活躍推進に関する経営トップの意思表示をしたか</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>回答</th> <th>回答数</th> <th>%</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>意思表示した</td> <td>122</td> <td>29%</td> </tr> <tr> <td>意思表示はこれから</td> <td>183</td> <td>44%</td> </tr> <tr> <td>意思表示する予定なし</td> <td>73</td> <td>18%</td> </tr> <tr> <td>未回答</td> <td>37</td> <td>9%</td> </tr> <tr> <td></td> <td>415</td> <td>100%</td> </tr> </tbody> </table> <p>女性活躍推進を進めるにあたって、経営層がトップダウンのメッセージを出して、取組姿勢を明らかにしたかをきいた。約3割の企業で意思表示を明示的に行っている一方これからの課題とする企業が最多で44%であった。</p>	回答	回答数	%	意思表示した	122	29%	意思表示はこれから	183	44%	意思表示する予定なし	73	18%	未回答	37	9%		415	100%							
回答	回答数	%																								
意思表示した	122	29%																								
意思表示はこれから	183	44%																								
意思表示する予定なし	73	18%																								
未回答	37	9%																								
	415	100%																								
<p>上記意思表示にあたり、説得等工夫したこと(自由記入)</p>	<p>主な回答</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 年初の経営方針会議での社長講話、他社で活躍している女性役員の講話。 ・ 理事会決議を受け、事業計画に明示 ・ 常時表明している。 ・ 経営会議での検討、管理職会議での複数回にわたる説明、社内誌、社長朝礼、イントラネットでの広報 ・ 社長が全社員に朝礼で、女性活躍の数値目標・意義を自らの言葉で述べた ・ 積極的な採用と幹部への登用 ・ 会議、朝会、社内研修等で従業員に対し意思表示を行った。 																									

<p>女性の採用に積極的か</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>回答</th> <th>回答数</th> <th>%</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>非常に積極的</td> <td>110</td> <td>27%</td> </tr> <tr> <td>やや積極的</td> <td>110</td> <td>27%</td> </tr> <tr> <td>どちらでもない</td> <td>169</td> <td>41%</td> </tr> <tr> <td>やや消極的</td> <td>11</td> <td>3%</td> </tr> <tr> <td>非常に消極的</td> <td>3</td> <td>1%</td> </tr> <tr> <td>無回答</td> <td>12</td> <td>3%</td> </tr> <tr> <td></td> <td>415</td> <td>100%</td> </tr> </tbody> </table>	回答	回答数	%	非常に積極的	110	27%	やや積極的	110	27%	どちらでもない	169	41%	やや消極的	11	3%	非常に消極的	3	1%	無回答	12	3%		415	100%	<p>積極的であるとする企業が54%でほぼ半数であったが、消極的とする企業は4%と少ない。</p>
回答	回答数	%																								
非常に積極的	110	27%																								
やや積極的	110	27%																								
どちらでもない	169	41%																								
やや消極的	11	3%																								
非常に消極的	3	1%																								
無回答	12	3%																								
	415	100%																								
<p>従業員の能力は、男女の性差より、個性差のほうが大きいと思うか</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>回答</th> <th>回答数</th> <th>%</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>とてもそう思う</td> <td>126</td> <td>30%</td> </tr> <tr> <td>ややそう思う</td> <td>201</td> <td>48%</td> </tr> <tr> <td>どちらともいえない</td> <td>62</td> <td>15%</td> </tr> <tr> <td>余りそう思わない</td> <td>7</td> <td>2%</td> </tr> <tr> <td>全くそう思わない</td> <td>10</td> <td>2%</td> </tr> <tr> <td>無回答</td> <td>9</td> <td>2%</td> </tr> <tr> <td></td> <td>415</td> <td>100%</td> </tr> </tbody> </table>	回答	回答数	%	とてもそう思う	126	30%	ややそう思う	201	48%	どちらともいえない	62	15%	余りそう思わない	7	2%	全くそう思わない	10	2%	無回答	9	2%		415	100%	<p>肯定的な回答が約8割である。消極的的回答は4%と少ない。</p>
回答	回答数	%																								
とてもそう思う	126	30%																								
ややそう思う	201	48%																								
どちらともいえない	62	15%																								
余りそう思わない	7	2%																								
全くそう思わない	10	2%																								
無回答	9	2%																								
	415	100%																								
<div style="text-align: center;"> <p>男女差よりも個性差が大きい</p> <p>The chart shows a stacked bar representing the distribution of responses. The x-axis ranges from 0% to 100%. The segments are: 'とてもそう思う' (30%), 'ややそう思う' (48%), 'どちらともいえない' (15%), '余りそう思わない' (2%), '全くそう思わない' (2%), and '無回答' (2%).</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回答</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>とてもそう思う</td> <td>30%</td> </tr> <tr> <td>ややそう思う</td> <td>48%</td> </tr> <tr> <td>どちらともいえない</td> <td>15%</td> </tr> <tr> <td>余りそう思わない</td> <td>2%</td> </tr> <tr> <td>全くそう思わない</td> <td>2%</td> </tr> <tr> <td>無回答</td> <td>2%</td> </tr> </tbody> </table> </div>			回答	割合	とてもそう思う	30%	ややそう思う	48%	どちらともいえない	15%	余りそう思わない	2%	全くそう思わない	2%	無回答	2%										
回答	割合																									
とてもそう思う	30%																									
ややそう思う	48%																									
どちらともいえない	15%																									
余りそう思わない	2%																									
全くそう思わない	2%																									
無回答	2%																									